



第 60 号
平成 20 年
11 月発行

インフルエンザについて

— 早めのワクチン接種を —

社会福祉法人うんさく福祉会

理事長 須田 渥

インフルエンザは、高齢者や、呼吸器・心臓などに慢性疾患を持つ人は重症化しやすく、最悪の場合は死に至ることもあります。日本でのインフルエンザは、毎年十二月下旬頃に発生が始まり、翌年の一～三月頃にその数が増加して、その後は減少していくのが一般的です。ただし、流行の程度としてピークの時期は年によって異なります。

インフルエンザは流行性疾患で、いったん流行し始めると短期間に乳幼児から高齢者まで膨大な数の人々を巻き込みます。また、インフルエンザが流行した年には、高齢者の冬季の死亡率が高くなるという統計もあります。

インフルエンザはインフルエンザウイルスの感染によって起こる病気です。インフルエンザにかかっている人が、セキ、くしゃみなどをした時、飛沫と一緒に空気中に飛び散ったウイルスを別の人が吸うことによって感染します。高熱、頭痛、筋肉痛、嘔吐などの症状が現れ重症になると気管支炎や肺炎、脳炎などを併発するケースもあります。

インフルエンザは、風邪とは全く異なる病気です。原因となるウイルスの違いから A 型、B 型、C 型の三種類に分類されます。A 型はさらに A 香

港型や A ソ連型といったように細かく分類されています、一般的に流行が広がりやすいといわれているのは A 型と B 型です。日本では毎年、インフルエンザの流行が終わる時期に WHO（世界保健機関）の情報や日本国内の流行情報をもとにワクチン製造株が決定されて製造にとりかかります。現在は、A 型の二種と B 型一種の計三種のインフルエンザの混合ワクチンを製造しています。

インフルエンザの流行シーズンに、インフルエンザが原因で死亡する人数は年によって大きく異なりますが共通しているのは死亡者のほとんどが六十五歳以上の高齢者であることです。インフルエンザの予防法として世界的に認められているのが、インフルエンザワクチンの接種です。インフルエンザワクチンには、麻疹やポリオのワクチンのように、発病をほぼ確実に阻止するほどの効果は期待できませんが、高熱などの症状を軽くし、肺炎などの合併症による入院や死亡を減らすことができます。特に高齢者、呼吸器疾患や糖尿病、腎不全などの基礎疾患がある場合は、インフルエンザが重症化しやすいので、積極的にワクチンを接種したほうがよいでしょう。

望洋荘でも入所者および職員全員に予防接種を勧めているところです。面会にいらつしやるご家族の皆さんにも十一月十五日以降の予防接種（特に六十五歳以上の方には市の補助制度あり）をお願いします。

身近でできるインフルエンザの予防策

- ① 外出時にはマスクを利用する。
- ② 加湿器などを使って室内を適度な湿度（五〇～六〇％）に保つ。
- ③ 十分に休養をとり、体力や抵抗力を高める。
- ④ 帰宅時は必ずうがい、手洗いを励行する。
- ⑤ 常日頃からバランスよく栄養をとる。

「居酒屋」塩屋岬ホール

十一月二十二日（土）午後六時より、塩屋岬ホールにて、居酒屋を開催致しました。望洋荘では、初めての試みで、不安もありましたが、家族会の皆様のご支援を頂き、楽しく行いう事が出来ました。写真でもご覧の如く、皆様とっても良い表情をされていました。メニューは、ビール・日本酒・ウイスキーなど、つまみは、マグロの刺身・焼鳥・おでん・焼きそば・お汁粉など…そして最後はカラオケで盛り上がりました。



今回、家族会様より、全員分のマグロの刺身を差入れ頂きました。有難うございました。



「ハワイアンズ」永崎&勿来ユニット

十一月十八日（火）永崎ユニット五名、二十七日（木）勿来ユニット四名の入居者様が「スパリゾートハワイアンズ」にフラダンス見学に行ってきました。フラダンスショーを見学した後に、植物館で様々な植物を観賞したり、ハワイアンズの歴史資料館も見学。歴史資料館では、宝船型金浴槽（金風呂：昭和四十一年当時で弐千萬円）が展示されており、すごい！・懐かしい！とか皆様大喜びでした。帰りの車の中でも「また来たいね」と話されていました。



今月は久しぶりとなりました「理事長の著作集」を掲載いたします。今回の作品は、「福島県医師会報」二〇〇八年三月号に新しく建設された「福島県医師会館」の落成記念集に寄せられた原稿です。

福島県医師会創立六十周年 及び新医師会館の竣工を祝す

福島県医師会

理事 須田 滉

医師会創立六十周年、誠におめでとう御座います。又、新会館の竣工に対し重ねて祝意を表します。現医師会の発足が昭和二十二年との事。小生まだ小学校の中学年で自分の将来などつゆ程も考えていない時期でありました。それから約十年後、医学部に進み、更には大学の医局に在籍したのですが、医師会の存在に関しての認識はあったものの、極めて遠い存在であったことは、否めない事実でした。

勤務医から開業医となり、医師会に入会したわけですが、それまでの一方的な閉ざされた医療活動とは違った面を経験することとなりました。特に地域病院あるいは専門を異にする診療所の先生方との交流することの大切さ、又、連携の重要性を身を以て知り得たと思っております。これら地域の保健・医療は勿論のこと福祉活動においても、その中心に医師会があり、医師会のコーディネートのもと整然と活動している実態をも知ることが出来ました。

達の活動がスムーズに充実したものにしているの拠点作りに些かなりとも貢献できたものと思っております。

更にここ十数年、医師会の役職に就任してからは尚更のこと、医師会の果たす役割の重要性を、認識出来たものと思っております。日々の会の活動を始めとして、いわき市の医師会館、加えて今回の県医師会館の新築建設担当委員として参画できたことを有り難く思っております。どちらの会館建設にあたっても、会員各人それぞれの意見がありました、結果的には大きな賛同が得られ今日があるものと思えます。医師会の活動はこれからも連綿と続くわけでありますから、後に続く会員

本県の医師会が発足してから六十年でありますが、孔子は論語の中で「六十にして耳順う」と述べております。人の言うことを素直に聞いて理解できる境地になることでしょうか。医師会においても、会員の意見に耳を傾け、的確な方向を今後も指し示してゆく使命を担っているのですから責任は重大だろうと思えます。又、会員は医師会の役員に全てを委ねるのではなく、より良い医師会形成のための協力を惜しむべきではないと思っております。兎にも角にも、私どもは医師であるわけですから。医学者オスラーの言「医学・医療は患者と共に始まり、患者と共にあり、患者と共に終わる。」を常に、心の奥底に秘めて行動することが肝要なのではないでしょうか。そのような人たちの集団である医師会の益々の発展を心より願うものです。

「望洋荘家族会からの要望書」 に対する施設内改善報告 ⑥

前月号に引き続き、要望書の内容による改善方法を、皆様へ報告させて頂きます。今年五月号より六回に分けて報告させて頂きましたが、今回が最後となります。皆様からの貴重な御意見を受け、今後の施設運営に役立てて行きたいと思っております。ありがとうございます。

⑩ ご家族が望洋荘で生活していることについての安心度

要望31、おむつ交換が遅い時がある

【改善内容及び回答】

個別ケアのひとつとして排泄パターンの把握に努め、その方にあつた排泄時間に合わせオムツ交換を行っています。その日の体調や水分摂取量などにて入居者様の排泄時間がずれてしまう事があります。入居者様の体調変化の確認など行い、その状況に合った排泄ケアを今後も行っていく予定です。

⑪ その他、意見や要望、苦情等について

要望33、気づいた点や要望などがあつた際にはどのような手段をとったら良いのでしょうか？

【改善内容及び回答】

施設では一階廊下に意見箱を設置しており、入居者様及びご家族様の意見など取り入れサービスの向上を図っていきたくと思っております。面会時等において、気になる点・要望などございましたら、御意見・御要望をご記入の上、投函下さいます様お願い致します。

要望35、家族からの電話、話の内容を把握し対処して頂いておりますが、何度も電話に出る人が違うとまた最初から話をしなければならぬ。最初に受けた職員の方は、他の職員の方達にも内容を伝えられないでしょうか。

【改善内容及び回答】

大変失礼致しました電話の対応に関しては、事務職員で話し合い、申し送り等の徹底を行います。今後、改善して行きます。

要望36、入所者は外の暑さ寒さを感じず一日を生活していると思うので、せめて季節の花（今ですと菜の花等）を、皆さんの集まる場所に季節ごとの花が一本でもあつたら良いのではないかと思います

【改善内容及び回答】

施設行事・ユニット行事にて節分やお花見など行い、また、ユニット内の飾り等で季節感が得られるような工夫を行っております。季節ごとのお花に関しては今後検討していきたいと思っております

要望37、病院関係の知人から、望洋荘は入所者に対する施設職員の数が不足しているとの指摘を受け、少し不安になった。本当であるならば、施設職員の疲労等及び入居者のケアを考えて、増員（施設職員）をお願い致します。

【改善内容及び回答】

介護保険法で定められている人員基準は入居者様三名に対し介護・看護職員あわせて一名を配置となっています。当施設では入居者様二・五名に対し介護・看護職員あわせて一名の配置となっており、基準以上の人員を確保しておりますので、ご安心下さい。

十二月の行事予定

十二月一日（月）～数日間 施設全体に
「床ワックス掛け大掃除」午前九時～午後五時
※施設内で通行区域の制限など御迷惑をお掛けすると思ひますがよろしくお願ひします。
十二月七日（日） 四倉ユニット
「忘年会」午前十一時三〇分～
十二月九日（火） 施設全体 塩屋岬ホール
「フラダンス・バンド」Bフラット様 午後二時～
十二月十六日（水） 施設全体 正面玄関ホール
「お遊戯会」豊間保育園様来荘 午前十時～
※十二月中に各ユニットにて年末大掃除を予定しています。ご家族の皆様にもご協力頂けますようお願い致します。

【十二月のお誕生会予定】

十二月十六日（火）
薄磯 宇田 恒雄様 （八六歳）誕生会
十二月二〇日（土）
永崎 菊地 キヨ様 （八七歳）誕生会
十二月二〇日（土）
四倉 吉田 ミツ子様 （八四歳）誕生会

編集後記

『望洋荘』便り
平成二十年十一月三十日発行
発行所 いわき市

社会福祉法人 りんさく福祉会
介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373
FAX (0246) 55-7255